

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0470500372		
法人名	有限会社 村伝		
事業所名	グループホーム村伝	ユニット名グループホーム村伝	
所在地	宮城県気仙沼市八日町二丁目3番6号		
自己評価作成日	平成 30 年 12 月 12 日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会		
所在地	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウェル仙台ビル2階		
訪問調査日	平成31年 1月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

市中心部にあり近隣の商店街、100m離れた場所にあり、近くには病院があるなど生活の場として恵まれた環境にあります。事業所開設14年目を迎え地域の皆様に気軽に声を掛けて頂けるよう繋がりが見られています。振興組合に加盟しており八日町回覧板を入居者さんと回しております。入居申し込みの家族さんが来所時には、介護者の悩み、抱えている事情など相談されることが多く、申込み後も相談が継続して方もあります。利用者さんの状態に応じて柔軟な発想、支援をチームケアとして取り組んでおります。町内の行事は出来るだけ参加しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、気仙沼市の市役所、病院、商店街等に囲まれ利便性の高い地域の一角にある。住み慣れた地域の中で、行事、買い物、散歩等で近隣の方々との関わりながら生活している。入居者の思いやこれまでの生活歴を汲み取り、がんづき作り、花壇の手入れ、家事の手伝い、好きなテレビ等、一人ひとりを尊重したケアに取り組んでいる。外出についても、希望を聞き、どんと祭・花見・紅葉・みなど祭り見学や見慣れた地元の海岸にドライブに出掛けている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

2.自己評価および外部評価結果(詳細)(事業所名 グループホーム 村伝

)「ユニット名

」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、理念を唱和して周知できています。施設動線上に理念が掲示されていますので業務中も意識付けができています。支援の中で理念に繋がる事一つでも出来ないかと向上心を持っている職員もおりケアの根底になっています。	昨年アンケートを取り作成した「優しいまなざしでとよあゆみ～」のサブ理念を基本理念と共に掲示している。入居者の思いを大切にしたい生活や心に寄り添ったケアを実施し、笑顔で過ごせるよう実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	八日町1区会員として今年は村伝が班長となっています。回覧板回しも利用者さんで行っております。顔馴染みの関係も出ています。地域コミュニティ八日町2区「お茶つこ会」に職員、利用者さんと参加・交流が始まり良好な関わりがあります	近隣の散歩や好きな菓子を買いに行った時に、地域の方が声掛けしてくれる。地域ボランティアの方々から敬老会やクリスマス会に訪し、懐メロの披露やギター演奏で交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居申し込み時に介護の相談を受ける事が多く認知症の理解が出来るように接し方などお話ししております。その後も関係が続く相談に乗っております。今後も地域包括支援センターと連携して地域に貢献していきたいと考えています。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎の活動報告を中心に行っております。近隣の情報共有をさせて頂いたり、外出先の注意点など参加者から教えて頂いています。季節の行事の報告もあり、面会数、待機者、職員体制なども報告して意見を伺っております。	市の包括職員、民生委員、近所の商店の方、入居者、家族が参加し開催している。入居者が安全に行ける地域の情報や避難訓練は入居者がパニックにならず良かったとの意見交換をしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	包括支援センター所長にサービス提供について相談に伺い地域密着型サービスとしての機能していく取り組みの助言を頂きました。今後も相談の機会もあり一緒に考えてより良い支援が出来るようにサポートして頂いております。	介護保険制度改正、介護認定の更新手続き等について、相談し助言を得ている。地域包括と生活保護や家庭内の問題を抱えた方の入居の情報交換をしている。防災研修会や認知症ケア向上研修会に参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基準となる具体的な行為を理解し、玄関の常時施錠、利用されている方を口頭、身体、薬でのいずれの抑制手段を行わないようチームで検討しております。	勉強会で、禁止の対象となる行動やスピーチロック等を職員で話し合い、身体拘束のないケアに努めている。身体拘束禁止委員会で、高齢者虐待ゼロの実施やコンプライアンスの徹底と不適切なケアがないか等に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	包括支援センター、宮城県保健事務所主催の高齢者虐待関連の研修に参加、法人内の3か所のGHとの情報交換や事業所の身体拘束委員会2名がホーム内の環境と声掛け等に問題がないか気づきを促しています。	/	/

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在の入居者さんの成年後見人制度を利用されている方はいませんが行政主催の研修に職員も参加したいと話されていますので今後も知識を高めて行きたいと思えます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時は、家族、本人の環境が変わり入居準備など多忙になりがちですので無理のない日程を計画して契約内容を説明しております。入居されてからも面会時などで契約内容についての質問も受けられる環境を作っております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の場で行政、地区民生委員、住民さんの参加で利用者さん家族から寝たきりにならず元気に過ごさせてほしいなど要望があり参加者全員で情報共有して取り組みの助言を頂いています	面会時に心身状態や生活状況等話し、意見や要望を聞いている。好きな寿司を食べさせてや寝たきりにならず元気に過ごして欲しいの要望があった。散歩やドライブに出掛け体を動かすように対応した。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホームの行事の計画では、職員の意見を取り入れ物品の購入、レイアウトまで反映しております。入居者さんの環境の福祉用具の選定も積極的に意見を頂いております。実行力を引出し、創造力を伸ばしています。	温度計付きの加湿器の購入や転倒防止に滑らないマットを設置した。入居者に好評な寿司の日を2月に1回実施等反映された。資格取得の支援や子育て中の方のシフトの調整など行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は従業員の実績、勤務状況を考慮しながら給与水準に繋がる理解に努めておられます。に職場環境が良くなる取り組みにも真剣に耳を傾け管理者はいつでも相談できる環境が出来ています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、事業所に出向いて下さりスキルアップのための情報提供なシフト制の勤務体系の中でも研修参加をバックアップして下さる姿勢があり継続出来ています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	宮城県ケアマネ協会の役員として月1回の会議の出席も後押しして下さっております。個人のネットワークの介護支援専門員事業所とも理解の上、交流が活発に出来ています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居を検討している段階から早めにホーム見学をして頂き、その後は自宅に訪問させて頂き関係を構築しながらどんな生活を送りたいのか？心配な事などを伺っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族さんの生活サイクルから介護の負担を伺い大切にされている利用者さんの接し方などホームでどのような生活を望むのかを伺っております。特養・老健の違いなどの説明を説明させて頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所初期では、環境に慣れて頂けるように今までの生活習慣に合わせて本人のペースを尊重しながら自立支援に繋がるように配慮しています。ホーム内での支援以外の取り組みも情報提供しながら対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事作りでは混乱、疲労にならないように午前中に醬油団子作りなど準備を料理の得意な利用者さんと職員が行い徐々に、他利用者さんも興味を持ち利用者さん同士が協力しあい午後からみんなで食して暮らしの中での喜びを分かち合っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者さんより職員が家族の話を伺う機会が多くあります。面会等で職員も家族の利用者さんへの想いや相談に乗っており、利用者さんに接する際には家族と同じ気持ち、想いをお伝えしたりが自然に出来ています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の面会時には馴染みに行事、行きたい所などの相談を行い一緒に考え実践しています。近所の方に会いたい時には家族に相談して外出、来所して頂いたり、商店街を利用していた方には現在の様子をお伝えしております。	元漁師で地元の海を見に行く方、馴染みの理容院に家族と行く方、昔勤めていた職場を見に高台の公園に行く方等を支援している。孫の成人式の着物姿の来訪で涙を流して喜んだ。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が関係性を考慮しながら円滑に事業所内で交流が出来るように声掛け、ドライブの誘う順番、座席、ドライブコースを工夫します。おやつ作りでもみんなが参加しやすい環境も作っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームから特養に入居された利用者さん、家族に現在の様子を伺いそこでの心配事など介護サービス利用についての相談も受けております。退去後も家族さんがアコーギターの演奏に来所して下さいました		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	携帯電話の所持な方もあり自宅と同じ場所として支援しています。夜間の排泄も本人の意向とアセスメントを行い困難時でもどこまで出来るかを常時模索して実践しております。	山登りが好きで富士山に登ったこと、北海道から気仙沼に嫁いだこと等を傾聴して、思いを把握する。がんづきを作って皆さんに食べさせたい、好きな通販番組を見たい等、その人の思いを汲み取り支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前には自宅訪問、サービス利用の様子などで多くの方から実際の様子を伺います。本人の希望も伺いそこから可能な事はすぐ実践しています。夫婦で入居されている方がおり好みの調味料、湯たんぽの入れる時間など支援しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日2回朝、夕の申し送りで排便の確認、微熱の様子など確認、対応がスムーズに出来ています。毎朝、ポータルトイレの片付けなどを自分で行っている方など出来ている日常生活動作を見守り把握しております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	生活支援の中で混乱、生活障害は全員で共有課題した上で居室担当者と介護支援専門員と一緒にアセスメントシート151を作成している。管理は家族にも支援の方向を相談しています。	本人・家族の意向と医師の指示を参考に、職員で話し合い作成している。糖尿病の方は、医師の指示で果物を控える、本人の健康に過ごしたい要望は日々のバイタルチェックを行い体調変化に気を付ける等を盛り込んだ。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録で生活の様子から独自の個別申し送りカードを作成して普段より生活の質の向上に活かしております。例「富士山に登った方がおられ話題にすると笑顔が見られている」		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	数日、悪夢がめり胸騒ぎから不穏の際には、話を受け止め、傾聴した上で外出して近くの公園に外気浴を行ったり、表情が陰しく時は早めに入浴など柔軟に対応している。食材の買い出しもお手伝いして下さいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	八日町2区お茶っこ会など町内の行事に参加され知り合いなどの出来、新しい交流が 出来ている。通い馴染んだ美容院にも行か れています。公園、近くの菓子店も利用され 楽しまれています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援して いる	今までのかかりつけ医を本人、家族の意向 を確認して継続した医療を受けられていま す。早めの受診を心がけています。	受診時は、家族か職員が健康チェック表のコ ピーを持参し付き添っている。結果は、ファイ ルに残し、職員で共有している。同法人の看 護師が週1回来て一人ひとりのバイタル チェック等をし、相談や助言を受けている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	ホームの療養は専属看護師に定期的に対 応して頂いています。看護師と連携ノートで 情報共有も出来ており職員も利用者さんの 状態の相談が出来ています。病院受診時に も付き添って頂き病院との連携もスムーズ に出来ています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよ うに、又、できるだけ早期に退院できるように、病院 関係者との情報交換や相談に努めている。ある いは、そうした場合に備えて病院関係者との関係 づくりを行っている。	医療機関との連携連絡票で入院の際には 情報手協を速やかに行っています。本人が 混乱せず治療に専念して頂けるように努め ております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで いる	入居時に法人独自の「看取り介護」の意見 要望書で終末期の過ごし方を伺って重度の 医療行為の難しさなど説明を丁寧に家族の 様子を見てお話しています。地域包括支 援センター保健師にも必要時に相談してお ります。	入居時に、重度化対応に関する指針の重度 化対応の視点、重度化の際の支援内容、看 取りの考え方を説明し、家族の同意を得てい る。最終的に医療体制がないため家族の意 向で入院になることが多い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	H30年12月に心肺蘇生法、AED使用、ハイ ムリック法など消防隊2名を講師に講習して 実践で活かせるように努めています。マニ ュアルも常時、見える場所にあります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につけ るとともに、地域との協力体制を築いている	法人でも取り組みを強化しておりGH協議会 県北ブロック気仙沼地区災害想定模擬訓練 を11月に行い協力体制を進めています。事 業所として9月の台風24号に勤務者でシュ ミレーションをしました。	火災、風水害、地震マニュアルがある。夜間 を含む年2回避難訓練を、運営推進会議の 方々の見守りで実施した。心肺蘇生法、AE Dの取り扱いも受講した。署員から、マスク着 用、窓を閉める、水平避難の指摘があった。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちを伺い一緒に悩み考えるように職員は寄り添っています。以前の生活のリズムに近づけるように支援しています。利用者さんへの挨拶は目を合わせ立ち止まり行っています。	接する時は、声のトーンに気を付け、上からの目線ではなく同じ目線で接し、ユマニチュードにも対応し、不快にさせない言葉を掛けている。失禁時は、声掛けに気を付け、カーテンを閉める等羞恥心にも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日の生活の中で、表情が良く安心して過ごしている時など、自己決定できるように支援しています。飲み物もお好きな物を選んで頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	天候が良い日はドライブに行かれたり、のんびり過ごしたい時は小上がりでごろ寝をして本人のペースに合わせています。料理が得意な方は、料理の手伝いをしてもらっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	敬老会、桃の節句の行事にはお化粧をして楽しんでおります。男性利用者さんも髭剃りなど声掛けして整容した姿で出かける事もあります。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人用の使用する食器は、好みの色など様々です。お盆拭き、おしぼり作りを一緒に行っています。片付けの食器拭きも手伝って頂いています。味付け、食事形態もその日の体調により柔軟に対応しています。	地元や旬の食材を取り入れている。昼食は、職員も一緒に食卓に着き、郷土食のハット汁を美味しく完食していた。おでん祭りには、はんぺん、薩摩揚げ等好きな物を選びノンアルコールビールを飲み楽しんだ。	
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人の契約看護師さんと必要な水分量を情報共有しながら居室の訪問の際、リビングでも頻繁に水分補給をして頂き好みの飲みものなどで自然に出来ています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨きが習慣になっている方には、継続してお手本になって頂いています。洗面所で個々の動作能力に合わせて支援しています。舌苔スポンジブラシで支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居前はオムツ使用をされておりましたが入居され排泄アセスメントで夜間はリハパンで違和感を軽減しております。重度の方にもトイレ誘導で排泄支援を継続しています。	日中は、自分でトイレに行く方やサイン(表情が陰しくなる)を把握し、時間での声掛け等でトイレで排泄している。夜間は、厚めのパッドなど個々に応じた支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向の方には毎朝、コップ1杯の水などで生活習慣から支援しています。水分量の把握は毎日、記録して便秘予防に努めています。腹部マッサージも取り入れています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	その日の体調、皮膚状態、失禁なども勘案してお誘いしています。拒否があっても足浴、蒸しタオルで頭皮のマッサージなどで個々の対応が来ています	週2～3回の入浴支援である。本人の意向に添って熱めの風呂に長湯する方、民謡を歌う方、同性介助等一人ひとりの希望を大切に支援している。拒む方には、声掛けや職員を替えるなど工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室で休んでもすぐリビングに来られる方がおり、茶の間の小上がり畳でみんなの中でウトウトされるかたがおり柔軟に対応しています。居室にヒーリングテープを流している方もおります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	3か所に利用者さんの服薬の効能、種類、一包化などが分かるものを掲示して理解に努めております。事業所の契約看護師には状態の変化はすぐ相談できる体制があります		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好みの食材、飲み物など希望があったり、職員の気づきから生活歴も考慮して準備が来ていますガン月を作って近所に振る舞いたい方がおられ準備、計画中です		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段の会話から希望を伺い家族の協力を頂き外出して故郷のドライブに出かけました。ホームでもドライブ、散歩は希望を把握して実践しております。	天気の良い日は、散歩や買い物に出掛け、知り合いと挨拶している。季節に応じてどんと祭、花見、紅葉、みなと祭り等に出掛け、戸外で過ごす楽しさを共有している。盆や正月、外食等は、家族の支援で出掛けている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の意向も取り入れ利用者さんの管理能力に合わせて1万円所持している方は数名おられます		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の意向を伺い自由に電話連絡でやり取りして頂いております。自宅に外出の際に家族に言い忘れた利用者さんも電話で対応して安心して頂きました。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングではテレビをご覧にならない時間にはゆっくり副交感神経が休まる音楽など流しております。トイレ、浴槽の換気、ゆずの香りの入浴剤も取り入れております。暖色の蛍光灯も使用しています。	ウッドデッキの鉢にパンジーや葉ボタンが季節を感じる。脳を休めるヒーリングの曲を日常的に流している。ホールに、折り紙で作った大きな門松の貼り絵や和紙で作った気仙沼独特の「お目玉様」が飾られている。温湿度も適切である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	小上がりやテーブルの配置も工夫して気軽に話ををして周りに遠慮なく過ごして頂けるように居場所には、昔の道具なども準備して回想法にも役立っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前の馴染みの物を持ってきて頂いています。置物、カレンダーなどに予定を書き込むなど自宅でも行っていた習慣は継続しています。冷蔵庫を居室に置いて使用している方もあります。タオル、衣服は愛着のあるものを持参して頂いています。	使い慣れた衣装ケース、茶碗やコップ等の日用品、冷蔵庫、携帯電話を持ち込んでいる。家族の写真、若い時作った五円玉アート、昔可愛がったペットの写真を飾り、その人らしく過ごせる居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ案内は可能な限り自立して生活できるように考え掲示しています。他にも安心できるように案内板も種類を活用しています。		